

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号  
実用新案登録第3200233号  
(U3200233)

(45) 発行日 平成27年10月8日(2015.10.8)

(24) 登録日 平成27年9月9日(2015.9.9)

(51) Int.Cl.		F 1			
<b>A 6 1 B</b>	<b>5/11</b>	<b>(2006.01)</b>	A 6 1 B	5/10	3 1 0 A
<b>A 6 1 B</b>	<b>5/00</b>	<b>(2006.01)</b>	A 6 1 B	5/00	1 0 2 A

評価書の請求 未請求 請求項の数 10 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 実願2015-3695 (U2015-3695)  
(22) 出願日 平成27年7月23日(2015.7.23)

(73) 実用新案権者 511126305  
金鼎聯合科技纖維股▲分▼有限公司  
台湾台北市中山區林森北路4 2 6 號8樓

(74) 代理人 110001151  
あいわ特許業務法人

(72) 考案者 王 皓正  
台湾台北市中山區林森北路4 2 6 號8樓

(72) 考案者 張 麗娟  
台湾台北市中山區林森北路4 2 6 號8樓

(72) 考案者 廖 淑芬  
台湾台北市中山區林森北路4 2 6 號8樓

(72) 考案者 康 裕▲シュン▼  
台湾台北市中山區林森北路4 2 6 號8樓

(72) 考案者 陳 人壽  
台湾台北市中山區林森北路4 2 6 號8樓

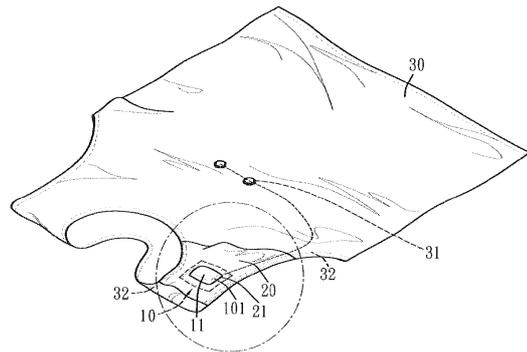
(54) 【考案の名称】 探知モジュールを有する布体

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 信号検知の安定性を拡大させられる探知モジュールを有する布体を提供する。

【解決手段】 探知モジュールを有する布体は、少なくとも1個の探知モジュール10、面層20、布層30の組み合わせ設計である。探知モジュール10には接触面11を設置する。面層20は少なくとも1個の探知モジュール10と相互に結合し、且つ探知モジュール10は面層20下方に位置し、面層20には少なくとも1個の窓口21を設置し、これにより探知モジュール10の接触面11は面層20の窓口21外に露出する。布層30は面層20と相互に結合し、布層30と面層20の間には空隙を形成し、且つ探知モジュール10は面層20と布層30との間に位置する。これにより、面層20に結合する探知モジュール10はズレ難いため、探知モジュール10は身体表面と随時接触状態を保持し、信号検知の安定性を拡大させることができる。

【選択図】 図1



**【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

探知モジュールを有する布体であって、少なくとも 1 個の探知モジュール、面層、布層を有し、

前記探知モジュールには、接触面を設置し、

前記面層は、前記少なくとも 1 個の探知モジュールと相互に結合し、且つ前記探知モジュールは、前記面層下方に位置し、前記面層には、少なくとも 1 個の窓口を設置し、これにより前記探知モジュールの接触面は、前記面層の窓口外に露出し、

前記布層は、前記面層と相互に結合し、前記布層と前記面層との間には、空隙を形成し、且つ前記探知モジュールは、前記面層と前記布層との間に位置することを特徴とする探知モジュールを有する布体。

10

**【請求項 2】**

前記探知モジュール下方には、保護層をさらに有し、

前記保護層の辺縁は、前記面層と相互に結合し、且つ前記保護層は、前記探知モジュールと前記布層との間に位置することを特徴とする請求項 1 に記載の探知モジュールを有する布体。

**【請求項 3】**

前記保護層は、布、或いは絶縁シートであることを特徴とする請求項 2 に記載の探知モジュールを有する布体。

**【請求項 4】**

20

前記布層の辺縁には、少なくとも 1 個の裁縫線を設置し、

前記布層の裁縫線は、前記面層の辺縁と相互に結合されることを特徴とする請求項 1 に記載の探知モジュールを有する布体。

**【請求項 5】**

前記結合は、縫合方式、超音波方式、熱融合方式、或いは接着剤方式の内の任意の一種であることを特徴とする請求項 1 或いは 2 或いは 4 に記載の探知モジュールを有する布体。

**【請求項 6】**

前記布層には、信号伝送接点をさらに設置し、

前記信号伝送接点は、前記少なくとも 1 個の探知モジュールと相互に接続することを特徴とする請求項 1 に記載の探知モジュールを有する布体。

30

**【請求項 7】**

前記探知モジュールは、身体表層の生理信号を測定できる電極片をさらに設置し、

前記生理信号は、体温、心拍、脈拍の内の任意の一種であることを特徴とする請求項 1 或いは 2 に記載の探知モジュールを有する布体。

**【請求項 8】**

前記探知モジュールは、傾斜感知チップ及びマイクロコントローラーをさらに設置し、

前記マイクロコントローラーは、前記傾斜感知チップと接続し、前記マイクロコントローラーを通して、前記傾斜感知チップの変化を感知することを特徴とする請求項 1 或いは 2 に記載の探知モジュールを有する布体。

40

**【請求項 9】**

前記面層は、布、織物、シートなどの内の任意の一種であることを特徴とする請求項 1 或いは 2 或いは 4 に記載の探知モジュールを有する布体。

**【請求項 10】**

前記布層は、衣服、ズボン、手袋、下着、ベスト、ブラジャー、ヘアトップなどの内の任意の一種にさらに縫製されることを特徴とする請求項 1 或いは 6 に記載の探知モジュールを有する布体。

**【考案の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

50

本考案は探知モジュールを有する布体に関し、少なくとも1個の探知モジュール、面層、布層の組合せ設計を通して、探知モジュールは身体表面と随時接触状態を保持し、これにより検知信号の安定性を高め、生理検知衣、傾斜検知衣、或いは類似の構造に適用できる探知モジュールを有する布体に関する。

【背景技術】

【0002】

近年科学技術の発達により、検査測定器と衣服との結合が研究されるようになっている。  
これにより、身体の生理状況を便利に検査及び記録でき、在宅健康自主管理或いは予防医学に運用することができる。

10

現在の検査測定器の大半は、皮膚表層に近い衣服上に設置されている。

これにより、検査測定器は、皮膚表層と接触し、人体の生理信号の検知を行うことができる。

【0003】

しかし、人体の皮膚表層には、毛穴があり、毛穴は、身体の温度の発散と調節のために用いられる。

皮膚表層近くに検査測定器を設置する衣服が、身体に密着する衣服であれば、良好な吸汗速乾機能を備えていなければならない。

そうでなければ、使用者は一定時間の着用後には、不快を感じて脱ぎたくなくなってしまい、長時間着用しての検査測定器に対応した生理信号の測定は難しい。

20

【0004】

また、それが緩めの衣服であれば、衣服と皮膚表層間には距離が生まれ、身体の動作により、検査測定器と接触すべき皮膚表層との位置にはズレが生じる可能性がある。

これにより、検査測定器が生理信号を測定する際には、皮膚表層と接触状態を随時維持することができなくなり、生理信号の測定において、信号が現れたり消えたりする信号断続の現象が発生する。

これでは、在宅で健康管理を自主的に行っている人、或いは予防医療の観点による測定においては、極めて不便である。

且つ、測定されたデータがねじれを生じ、正しい状態を完全に表すことができなくなる。

30

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0005】

本考案の主要な目的は、一種の探知モジュールを有する布体を提供することであり、該探知モジュールを有する布体は少なくとも1個の探知モジュール、面層、及び布層の組み合わせ設計である。

該探知モジュールには、接触面を設置する。

該面層は、該少なくとも1個の探知モジュールと相互に結合し、且つ該探知モジュールは、該面層下方に位置し、該面層には、少なくとも1個の窓口を設置し、これにより該探知モジュールの接触面は、該面層の窓口外に露出する。

40

該布層は、該面層と相互に結合し、該布層と該面層との間には、空隙を形成し、且つ該探知モジュールは、該面層と該布層との間に位置する。

該面層の窓口外に露出する探知モジュールの接触面により、身体表面上に密着させる。

該布層が動いて移動しても、該探知モジュールの接触面は身体表面に密着する摩擦力が大きいため、該布層が引っ張られても、該探知モジュールの接触面は、身体表面との密着性が高いため、身体表面との接触効果を高めることができ、且つ、これにより該面層に結合する探知モジュールは、ズレ難いため、該探知モジュールは、身体表面と随時接触状態を保持する。

こうして、信号検知の安定性を拡大させ、全体の実用性を高めことができる。

【0006】

50

本考案の次の目的は、一種の探知モジュールを有する布体を提供することであり、探知モジュールを有する布体はさらに、該布層の辺縁に、少なくとも1個の裁縫線を設置する。

該布層の裁縫線は、該面層の辺縁と相互に結合し、且つ該結合は、縫合方式、超音波方式、熱融合方式、或いは接着剤方式の内の任意の一種を採用する。

該面層の窓口外に露出する探知モジュールの接触面により、身体表面上に密着させる。

該布層が動いて移動しても、該探知モジュールの接触面は身体表面に密着する摩擦力が大きいため、該布層が引っ張られても、該探知モジュールの接触面は、身体表面との密着性が高いため、身体表面との接触効果を高めることができ、こうして全体的な密着性を高めることができる。

10

#### 【0007】

本考案のもう一つの目的は、一種の探知モジュールを有する布体を提供することであり、該探知モジュールを有する布体において、該探知モジュールは、該面層と該布層との間に位置し、且つ該探知モジュールの接触面は、該面層の窓口外に露出し、該身体表面と接触状態を保持する。

該探知モジュールには、身体表層の生理信号を検知する電極片を設置する。

該生理信号は、体温、心拍、脈拍の内の任意の一種である。

該探知モジュールには、傾斜感知チップ及びマイクロコントローラーを設置する。

該マイクロコントローラーは、該傾斜感知チップと接続し、該マイクロコントローラーにより、該傾斜感知チップの変化を検知し、これにより該探知モジュールは、身体の生理信号の変化を検知できる他、身体傾斜角度の変化も検知でき、眩暈或いは転倒の現象の有無を検知することができる。

20

こうして、全体的な安全性を高めることができる。

#### 【課題を解決するための手段】

#### 【0008】

本考案による探知モジュールを有する布体は、少なくとも1個の探知モジュール、面層、布層を有する。

該探知モジュールには、接触面を設置する。

該面層は、該少なくとも1個の探知モジュールと相互に結合し、且つ該探知モジュールは、該面層下方に位置し、該面層には、少なくとも1個の窓口を設置し、これにより該探知モジュールの接触面は、該面層の窓口外に露出する。

30

該布層は、該面層と相互に結合し、該布層と該面層との間には、空隙を形成し、且つ該探知モジュールは、該面層と該布層との間に位置する。

#### 【考案の効果】

#### 【0009】

本考案の実施形態を応用する特徴の一つは、ズレにくく、探知モジュールは身体表面と随時接触状態を保持できる布体で、これにより使用者は簡単に組み立てを操作でき、高い利便性を提供できる。

#### 【図面の簡単な説明】

#### 【0010】

40

【図1】本考案第一実施形態の立体外観模式図である。

【図2】本考案第一実施形態のパーツ分解模式図である。

【図3】本考案第一実施形態の局部拡大模式図である。

【図4】本考案第一実施形態のA-A線方向に沿ってカットされた断面図である。

【図5】本考案第一実施形態の別種の実施位置の模式図である。

【図6】本考案第二実施形態の立体外観模式図である。

【図7】本考案第二実施形態のパーツ分解模式図である。

【図8】本考案第二実施形態の局部拡大模式図である。

【図9】本考案第二実施形態のA-A線方向に沿ってカットされた断面図である。

#### 【考案を実施するための形態】

50

## 【0011】

図1乃至図9に示すとおり、本考案の一実施形態による探知モジュールを有する布体は、身体表層の生理信号或いは身体の傾斜角度の変化の検知に運用し、且つこれにより探知モジュール10にはズレが生じにくくなり、身体表面と随時接触状態を保持でき、信号検知の安定性を高めることができる。

## 【0012】

本考案の探知モジュールを有する布体の第一実施形態(図1乃至図4参照)は、少なくとも1個の探知モジュール10、面層20、及び布層30を有する(図2参照)。

探知モジュール10には、接触面11を設置する。

探知モジュール10の接触面11は、身体表面に接触し、身体表層の生理信号を測定する。

探知モジュール10は、面層20下方に位置する。

## 【0013】

面層20は、布、織物、シートなどの内の任意の一種(本考案の実施形態は布を採用する)で、シートは、プラスチック材質のシート、金属材質のシート、カーボン材質のシート、或いは他の材質のシートである。

且つ、探知モジュール10は、面層20と相互に結合し、その結合は、縫合方式、超音波方式、熱融合方式、或いは接着剤方式の内の任意の一種、或いは他の接合方式とすることができる(本考案の実施形態では、縫合方式を採用する)。

## 【0014】

面層20には、少なくとも1個の窓口21を設置する。

且つ、窓口21の設置数は、探知モジュール10に対応する。

2個の探知モジュール10を設置する際には、面層20上には、対応する2個の窓口21を設置し、或いは2個の探知モジュール10には、それぞれ対応する1個の面層20を設置し、各対応する面層20上に、対応する窓口21を設置する。

探知モジュール10の接触面11は、面層20の窓口21外に露出(図3参照)し、面層20の窓口21外に露出する探知モジュール10の接触面11により、身体表面に密着し、接触状態を保持し、こうして検知信号は安定性を有する。

## 【0015】

さらに、面層20は、布層30と相互に結合し、その結合は縫合方式、超音波方式、熱融合縫合、或いは接着剤方式の内の任意の一種、或いは他の接合方式とすることができる(本考案の実施形態では、縫合方式を採用する)。

布層30と面層20との間には、空隙50を形成し、これにより探知モジュール10は、面層20と布層30との間に位置することができる(図4参照)。

布層30は、本考案の実施時には、ベスト(或いは他の衣服、ズボン、手袋、下着、ブラジャー、ベアトップの内の任意の一種、或いは類似の物品)に縫製することができる。

これにより、ベストに縫製された布層30を、人の身体上に着用し、人の身体表面と接触を形成(本考案の図示はすべて、ベストに縫製された布層30を裏返し図示している)する。

こうして、ベストに縫製した布層30は、胸部、胸元などの身体表面の特定位置に緊密に接触することができる。

## 【0016】

図6乃至図9に示すとおり、本考案探知モジュールを有する布体の第二実施形態は、少なくとも1個の探知モジュール10、面層20、布層30、少なくとも1個の保護層40を有する(図7参照)。

保護層40は、探知モジュール10と布層30との間に位置し、且つ保護層40の辺縁は、面層20と相互に結合する。

その結合は、縫合方式、超音波方式、熱融合方式、或いは接着剤方式の内の任意の一種、或いは他の接合方式とすることができる(本考案の実施形態では、縫合方式を採用する)。

10

20

30

40

50

保護層 40 は、布、絶縁シート、或いは他の隔絶効果を有する物体（本考案の実施形態は、布により表示する）で、保護層 40 は、探知モジュール 10 の片側との何らかの接触を効果的に隔絶することができる。

【0017】

本考案の探知モジュール 10 は、保護層 40 上に結合できる。

且つ、探知モジュール 10 は、保護層 40 に結合後、保護層 40 の辺縁には、外縁部を延伸する（図示なし）。

保護層 40 の外縁部は、面層 20 と相互に結合し、且つ上述の結合は、縫合方式、超音波方式、熱融合方式、或いは接着剤方式の内の任意の一種、或いは他の接合方式とすることができる。

10

【0018】

内、布とする保護層 40 の外縁部は、縫合方式により、面層 20 と結合させられ、且つ布とする保護層 40 は、柔軟性を有し、不快感を低下させられる。

また、絶縁シートとする保護層 40（図示なし）の外縁部は、超音波方式で面層と結合させられ、且つ絶縁シートとする保護層 40 は、防護性を有し、摩擦により発生する静電気の破壊を回避することができる。

【0019】

上述の探知モジュール 10 には、接触面 11 を設置する。

探知モジュール 10 の接触面 11 により、身体表面に接触し、身体表面の生理信号を検知して測定する。

20

上述の探知モジュール 10 は、面層 20 下方に位置する。

【0020】

面層 20 は、布、織物、シートなどの内の任意の一種（本考案の実施形態は布を採用する）で、シートは、プラスチック材質のシート、金属材質のシート、カーボン材質のシート、或いは他の材質のシートである。

且つ、探知モジュール 10 は、面層 20 と相互に結合し、その結合は、縫合方式、超音波方式、熱融合方式、或いは接着剤方式の内の任意の一種、或いは他の接合方式とすることができる（本考案の実施形態では、縫合方式を採用する）。

【0021】

面層 20 には、少なくとも 1 個の窓口 21 を設置する。

30

且つ、窓口 21 の設置数は、探知モジュール 10 に対応する。

2 個の探知モジュール 10 を設置する際には、面層 20 上には、対応する 2 個の窓口 21 を設置し、或いは 2 個の探知モジュール 10 には、それぞれ対応する 1 個の面層 20 を設置し、各対応する面層 20 上に、対応する窓口 21 を設置する。

探知モジュール 10 の接触面 11 は、面層 20 の窓口 21 外に露出（図 8 参照）し、面層 20 の窓口 21 外に露出する探知モジュール 10 の接触面 11 により、身体表面に密着し、接触状態を保持し、こうして検知信号は安定性を有する。

【0022】

さらに、面層 20 は、布層 30 と相互に結合し、その結合は縫合方式、超音波方式、熱融合縫合、或いは接着剤方式の内の任意の一種、或いは他の接合方式とすることができる（本考案の実施形態では、縫合方式を採用する）。

40

布層 30 と面層 20 との間には、空隙 50 を形成し、これにより探知モジュール 10 は、面層 20 と布層 30 との間に位置することができる（図 9 参照）。

布層 30 は、本考案の実施時には、ベスト（或いは他の衣服、ズボン、手袋、下着、ブラジャー、ヘアトップの内の任意の一種、或いは類似の物品）に縫製することができる。

これにより、ベストに縫製された布層 30 を、人の身体上に着用し、人の身体表面と接触を形成（本考案の図示はすべて、ベストに縫製された布層 30 を裏返し図示している）する。

こうして、ベストに縫製した布層 30 は、胸部、胸元などの身体表面の特定位置に緊密に接触することができる。

50

## 【0023】

本考案探知モジュールを有する布体の第一実施形態、及び第二実施形態において、探知モジュール10の実施時には、第一実施形態では、身体表層の生理信号を測定できる電極片101を設置する(図1、及び図6参照)。

且つ電極片101は、複数の非導電繊維系及び複数の導電繊維系を織って製造し、或いは電極片101は、全体を複数の導電繊維系を織って製造し、こうして電極片101全体は、導電効果を有する。

上述の電極片101の複数の導電繊維系は、織って、導電エリアを形成でき、電極片101の導電エリアを、身体皮膚上に密着させることで、生理信号の測定を有利に進めることができる。

10

生理信号は、体温、心拍、脈拍の内の任意の一種である。

## 【0024】

本考案による探知モジュールを有する布体の第一実施形態及び第二実施形態において、探知モジュール10の実施時には、第二実施形態では、傾斜感知チップ及びマイクロコントローラー(図示なし)を設置し、マイクロコントローラーは、傾斜感知チップと接続し、マイクロコントローラーを通して傾斜感知チップの変化を感知する。

## 【0025】

傾斜感知チップは、3軸加速度センサー(Three Axis Low-g Micro machined Accelerometer)である。

3軸加速度センサーは、X、Y、Zの3つの軸の傾斜角度と加速度により算出し、マイクロコントローラーにより定時に計測し伝送する。

20

傾斜角度は、 $\pm 1.0$ 度、或いは $\pm 1.5$ 度、或いは $\pm 2.0$ 度以上などにより、眩暈や転倒などの現象の有無を判断する。

マイクロコントローラーは、設定時に測定回数を定量とし測定する。

例えば、30秒以内の平均測定値を、 $\pm 1.0$ 度(或いは $\pm 1.5$ 度、 $\pm 2.0$ 度)以上などに設定し、異常傾斜と認定する。

## 【0026】

或いは9軸姿勢センサーを採用することもできる。

9軸姿勢センサーは、3軸加速度センサー、3軸地場センサー、3軸ジャイロセンサーを含む。

30

磁場範囲は、 $\pm 1.3 / 1.9 / 2.5 / 4.0 / 4.7 / 5.0 / 8.1$  Gaussである。

加速度範囲は、 $\pm 2g / \pm 4g / \pm 8g$ で、ジャイロ範囲は $\pm 250 / 500 / 2000$  dpsである。

上述の範囲値を通して、姿勢に異常がないかどうかをモニターし、範囲値を超えた場合には、異常傾斜と認定する。

且つ、上述の傾斜或いは姿勢変化が設定値を超過すると、マイクロコントローラーは無線信号発信器(図示なし)を通して、信号を直ちに伝送する。

## 【0027】

本考案による探知モジュールを有する布体の第一実施形態及び第二実施形態において、布層30の実施時(図1及び図6参照)には、布層30上には、信号伝送接点31を設置する。

40

信号伝送接点31は、少なくとも1個の探知モジュール10と相互に接続する。

これにより、探知モジュール10が検知測定した生理信号或いは身体傾斜角度の変化を、信号伝送接点31に伝送する。

信号伝送接点31には、信号伝送器(図示なし)を組み合わせ、且つ信号伝送器内には、無線伝送モジュールを設置し、これにより生理信号或いは身体傾斜角度の変化を電子デバイス(スマートフォン、スマートタブレットPC、ノートPC、デスクトップPC、医療設備など)、或いはクラウドシステムに無線で伝送することができる。

こうして、その測定結果の理解が便利になり、予防医療を行うことができる。

50

## 【0028】

さらに、本考案による探知モジュールを有する布体の第一実施形態及び第二実施形態において、実施時には、面層20と布層30との結合位置は、面層20を矩形、円形、楕円形、或いは不規則形状などの各種形状に裁断し、布層30の任意の位置に直接縫合する(図5参照)。

且つ、面層20を布層30に縫い付ける時には、面層20の四辺を縫合し、或いは面層20の両辺、或いは三辺だけを縫合しても良い。

且つ、面層20の窓口21外に露出する探知モジュール10の接触面11により、身体表面上に密着させる。

## 【0029】

布層30が動いて移動しても、探知モジュール10の接触面11は身体表面に密着する摩擦力が大きいいため、布層30が引っ張られても、探知モジュール10の接触面11は、身体表面との密着性が高いため、身体表面との接触効果を高めることができる。

且つ、これにより面層20に結合する探知モジュール10は、ズレ難いため、探知モジュール10は、身体表面と随時接触状態を保持する。

こうして、信号検知の安定性を拡大させ、全体の有用性を高めことができる。

## 【0030】

本考案による探知モジュールを有する布体の第一実施形態及び第二実施形態において、布層30の辺縁には、少なくとも1個の裁縫線32を設置する。

面層20と布層30の別の結合位置は、実施時には、布層30の辺縁の裁縫線32上に縫い付ける(図1及び図6参照)。

布層30をベスト(或いは他の衣服、ズボン、手袋、下着、ブラジャー、ベアトップなどの内の任意の一種或いは類似の物品)に縫う時、ベストに縫製される布層30の辺縁縫製位置は、裁縫線32を通して、縫合される必要がある。

こうして、ベストに縫製される布層30の辺縁裁縫位置には、脱線現象は出現せず、美しい布端を表現することができる。

## 【0031】

よって、面層20を、ベストに縫製された布層30の、肩部、胸部などの対応する位置に設置することができる。

肩部を例とすると、面層20の両側辺の幅は、ベストに縫製された布層30肩部の幅と同じか、それより大きい必要がある。

これにより、面層20の辺縁は、ベストに縫製された布層30肩部の辺縁の少なくとも1個の裁縫線32上に密着する。

さらに、面層20の両辺縁を、ベストに縫製された布層30肩部辺縁の裁縫線32上に縫合し、これにより面層20は、ベストに縫製された布層30肩部の位置上を保持することができる。

よって、面層20の窓口21外に露出する探知モジュール10の接触面11により、身体表面上に密着する。

## 【0032】

布層30が動いて移動しても、探知モジュール10の接触面11は身体表面に密着する摩擦力が大きいいため、布層30が引っ張られても、探知モジュール10の接触面11は、身体表面との密着性が高いため、身体表面との接触効果を高めることができる。

且つ、これにより面層20に結合する探知モジュール10は、ズレ難いため、探知モジュール10は、身体表面と随時接触状態を保持する。

こうして、信号検知の安定性を拡大させ、全体の有用性を高めことができる。

## 【0033】

第一実施形態において面層20と布層30との間に設置される探知モジュール10であっても、第二実施形態において面層20と保護層40との間に設置される探知モジュール10であっても、ズレは生じにくい。

こうして、探知モジュール10は、身体表面と随時接触状態を保持し、信号検知の安定

10

20

30

40

50

性を拡大することができる。

【0034】

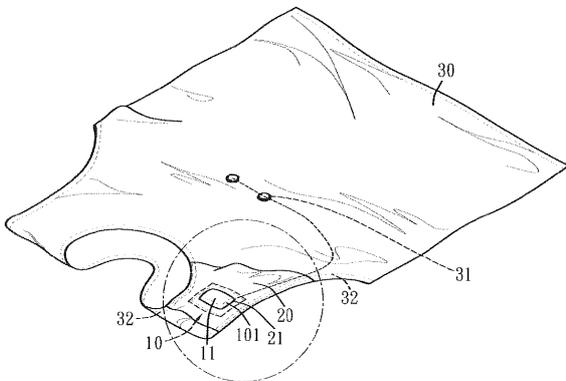
前述した本考案の実施形態は本考案を限定するものではなく、よって、本考案により保護される範囲は後述される実用新案登録請求の範囲を基準とする。

【符号の説明】

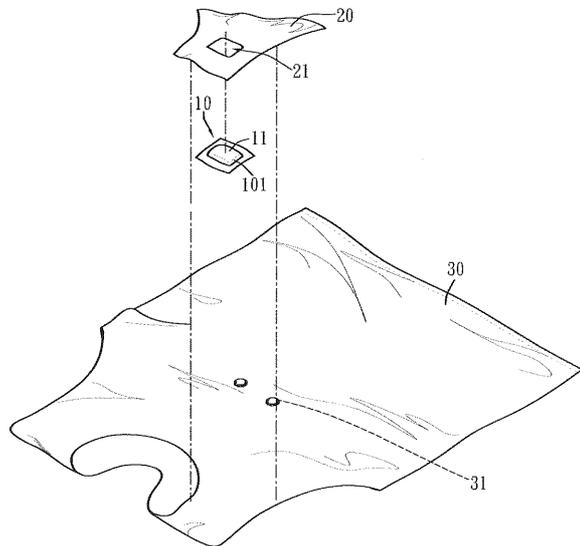
【0035】

- 10 探知モジュール
- 101 電極片
- 11 接触面
- 20 面層
- 21 窓口
- 30 布層
- 31 信号伝送接点
- 32 裁縫線
- 40 保護層
- 50 空隙

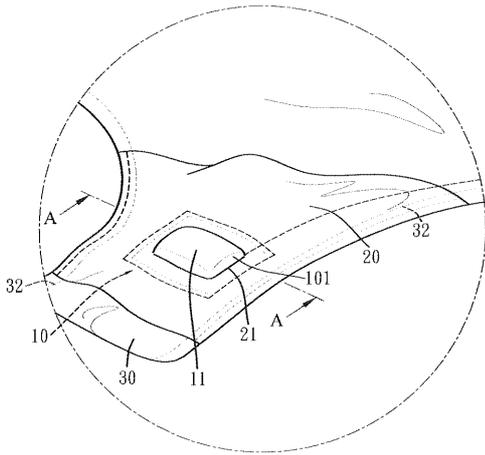
【図1】



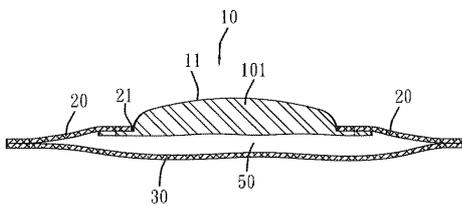
【図2】



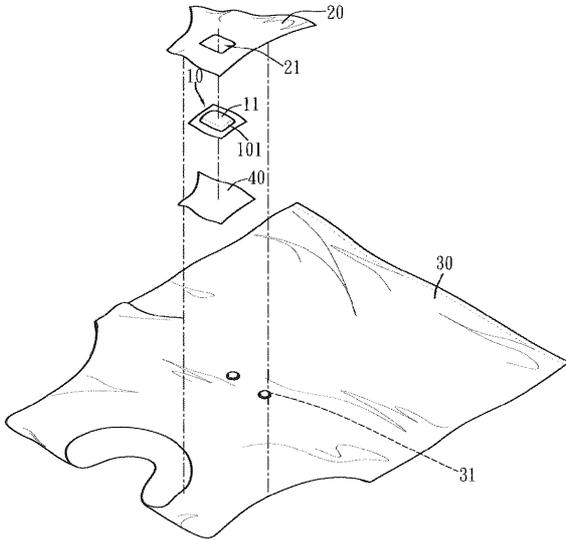
【 図 3 】



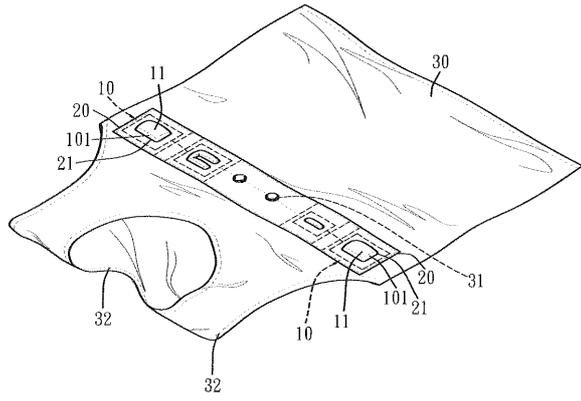
【 図 4 】



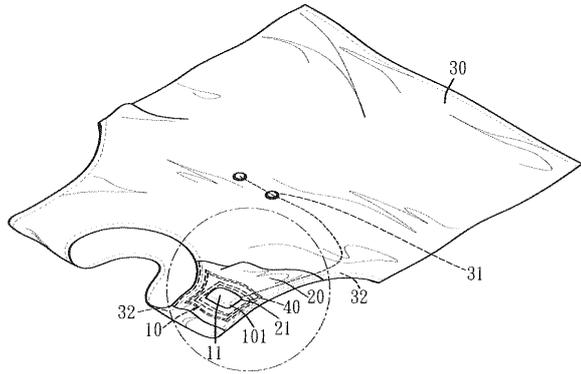
【 図 7 】



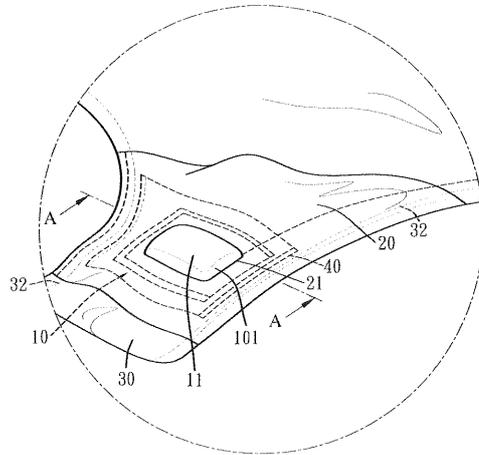
【 図 5 】



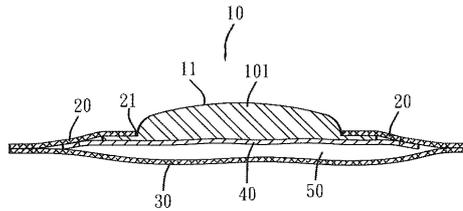
【 図 6 】



【 図 8 】



【 図 9 】



专利名称(译)	布身带检测模块		
公开(公告)号	<a href="#">JP3200233U</a>	公开(公告)日	2015-10-08
申请号	JP2015003695U	申请日	2015-07-23
申请(专利权)人(译)	金鼎联合科技纤维股▲分▼有限公司		
当前申请(专利权)人(译)	金鼎联合科技纤维股▲分▼有限公司		
[标]发明人	王皓正 張麗娟 廖淑芬 陳人壽		
发明人	王 皓正 張 麗娟 廖 淑芬 康 裕▲シユン▼ 陳 人壽		
IPC分类号	A61B5/11 A61B5/00		
FI分类号	A61B5/10.310.A A61B5/00.102.A		

摘要(译)

要解决的问题：提供具有能够提高信号检测稳定性的检测模块的织物体。具有检测模块的织物体是至少一个检测模块，面层和织物层的组合设计。接触表面11安装在检测模块10中。表面层20相互结合和至少一个检测模块10，和检测模块10位于表面层20的下方，它被放置在至少一个窗口21的表面层20上，从而检测模块10接触表面11暴露在表面层20的窗口21外部。织物层30与面层20互连并在织物层30和面层20之间形成空隙，并且检测模块10位于面层20和织物层30之间。结果，由于耦合到表面层20的检测模块10难以移位，因此检测模块10在任何时间都保持与体表的接触状态，并且可以提高信号检测的稳定性。

(21) 出願番号	実願2015-3695 (U2015-3695)	(73) 実用新案権者	511126305 金鼎聯合科技纖維股▲分▼有限公司 台湾台北市中山區林森北路426號8樓
(22) 出願日	平成27年7月23日 (2015. 7. 23)	(74) 代理人	110001151 あいわ特許業務法人
		(72) 考案者	王 皓正 台湾台北市中山區林森北路426號8樓
		(72) 考案者	張 麗娟 台湾台北市中山區林森北路426號8樓
		(72) 考案者	廖 淑芬 台湾台北市中山區林森北路426號8樓
		(72) 考案者	康 裕▲シユン▼ 台湾台北市中山區林森北路426號8樓
		(72) 考案者	陳 人壽 台湾台北市中山區林森北路426號8樓